

对应2010年改革后新日本语能力测试

# 新日本语能力测试 高分冲刺卷

聂中华 总主编

李颖清 孙海英 编著

出口奈弥 主审



N JLPT

新题型 新基准 新冲刺

诠释  
最新考试大纲

精准把握  
最新命题方向

全仿真模拟  
实战，统筹自测

5套仿真  
试题，冲刺高分

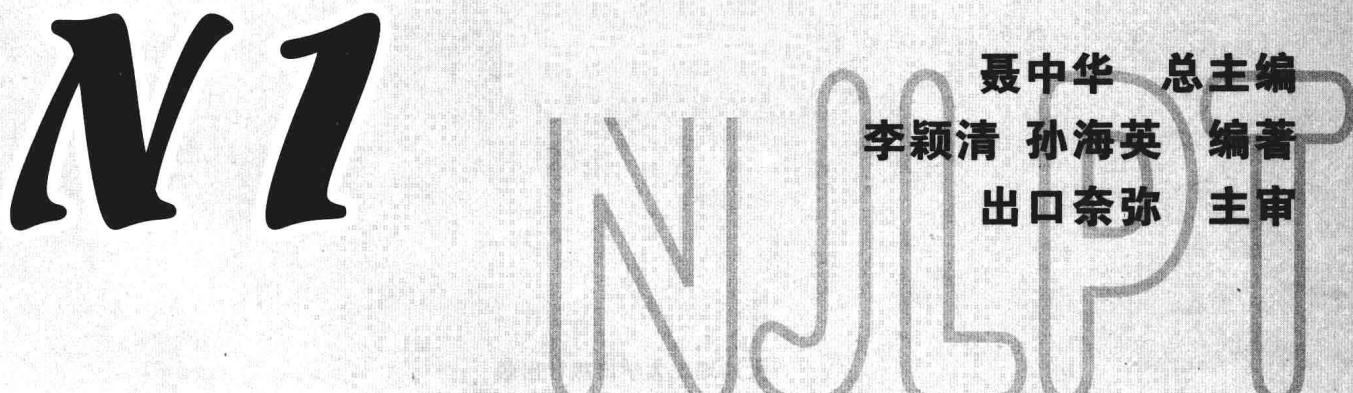


大连理工大学出版社  
Dalian University of Technology Press

对应2010年改革后新日本语能力测试

# 新日本语能力测试

# 高分冲刺卷



聂中华 总主编

李颖清 孙海英 编著

出口奈弥 主审

新题型 新基准 新冲刺

深度诠释  
最新考试大纲

精准把握  
最新命题方向

全仿真模拟  
实战 统筹自测

5套仿真  
试题，冲刺高分



大连理工大学出版社  
Dalian University of Technology Press

### 图书在版编目(CIP)数据

新日本语能力测试高分冲刺卷. N1 / 李颖清, 孙海英编著. — 大连 : 大连理工大学出版社, 2010. 6  
ISBN 978-7-5611-5327-7

I. ①新… II. ①李… ②孙… III. ①日语—水平考试—习题 IV. ①H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 095423 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023  
发行:0411-84708842 传真:0411-84701466 邮购:0411-84703636  
E-mail:dutp@dutp.cn URL:<http://www.dutp.cn>  
大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

---

幅面尺寸:185mm×260mm 印张:11.25 字数:257 千字  
附件:光盘 1 张 印数:1~6000  
2010 年 6 月第 1 版 2010 年 6 月第 1 次印刷

---

责任编辑:张 凡 责任校对:刘诗洋  
封面设计:季 强 插 图:李灵辉

---

ISBN 978-7-5611-5327-7 定 价:26.50 元

# 前 言

日本语国际能力测试初始于1984年，至今已经历了二十余年的发展历程。随着日本经济的急速发展及其在世界上影响力的提高，参加考试的人数急剧增加。为了适应应试者在数量、能力水平、应试目的及地域上的变化，考试的主办机构——“日本国际交流基金”以及“财团法人日本国际教育支援协会”在此二十余年间曾数次对考试内容、范围等进行过修改和补充，而2010年7月开始实施的新日本语能力1级测试（以下简称“N1”）则是迄今为止最大的一次改革。

为了帮助广大应试者尽快熟悉N1测试新题型，本书编者以日本语能力测试官方网站 <http://www.jlpt.jp/>公布的《新日本语能力测试指南》为指导，编写了此书。N1测试与过去的一级能力测试在水平及评价标准上大体相同，在原有基础上提高了对应试者日语运用能力测试的难度，题型和题量也有变化。下面对新题型做简单的介绍：

N1测试的试卷由“语言知识（包括文字、词汇、语法）·阅读理解”和“听力”两部分组成。“语言知识·阅读理解”部分要求应试者能够阅读面向普通日本人的新闻评论、社论等逻辑性较强、较抽象的文章，理解其内容主旨及文章结构；能够在阅读广泛层面且具有深度的文章时，理解文章的大意及表达意图。为了全面地、客观地考察应试者的实际运用能力，此部分在题目的设置上做了变动。

文字词汇主要从发音、词形、词义和用法四个方面进行考察，测试点与原1级大体相同，题型由一题多问改成了一题一问。语法增加了新题型，分为“句子的组合”（「文の組み立て」）和“文章语法”（「文章の文法」）。改变了以往单纯注重语法结构和意思的出题基准，着重考察应试者能否在熟练掌握语法项目的基础上，准确运用它们组成句子和文章。这两个新题型增加了1级语法部分的难度。

阅读理解中增加了“综合理解”（「統合理解」）和“信息检索”（「情報検索」）等题目。“综合理解”的题目是给出两篇文章相关联的文章，要求应试者在理解它们整体大意的同时，又要注意文章中的细节，从而找出两篇文章的异同点，或者对作者的写作意图进行比较。“信息检索”的题目是阅读简章、海报、通知等内容的文章，找出问题中要求的信息。“综合理解”主要参考了《朝日新闻》、《读卖新闻》等日本著名新闻媒体的社论栏目。“信息检索”主要通过网络搜索了日本的一些图书馆、医院等的利用指南等相关内容。

听力部分的题型变化也比较大，主要考察应试者能否理解各种场合下发生的日常会话、新闻、讲义等的内容，并对会话中的人物关系、语篇的逻辑关系等做出正确判断和分析。区别于过去的1级测试，N1测试不区分有图题和无图题，而是分为课题理解、要点理解、概要理解、即时回答、综合理解等五个项目。

“**课题理解**”的测试点在于应试者是否可以完整理解听力文本，并从文本中收集相关信息，对需要解决的具体课题给出正确的解决方案。此类题型要求应试者先听问题，再听文本，然后根据答题纸上给出的四个选项选择正确答案。

“**要点理解**”的测试点在于应试者是否可以完整理解听力文本，并根据事先给出的问题，有针对性地选择出正确要点。此类题型也要求应试者先听提问，再听文本，然后根据答题纸上给出的四个选项选择正确答案。

“**概要理解**”的测试点在于应试者是否可以完整理解听力文本，并对其加以概括总结，进而理解说话者的意图和主张。此类题型要求应试者先听文本，再听问题和四个选择项，答题纸上没有任何文字说明。

“**即时回答**”的测试点在于应试者是否可以对简短对话当中的提问等给予合适的应答。此类题型要求应试者先听文本，再听三个选择项，然后从选择项中选出适合文本语境的应答语句，答题纸上没有任何文字说明。

“**综合理解**”的测试点在于应试者是否可以从较长文本中比较、归纳，对众多信息进行筛选，进而理解文本内容。此类题型要求应试者先听文本，再从答题纸的四个选项中选择正确答案，一般一个语篇有一至两个设问。

本书的“语言知识·阅读理解”部分由北方工业大学日语系李颖清老师编写，“听力”部分由北方工业大学日语系孙海英老师编写，感谢北方工业大学日语系日籍教师出口奈弥对本书进行的审校工作。由于编者的经验不足，书中难免存在问题，希望广大读者给予宝贵的意见，希望此书能够帮助读者充分了解、熟悉新题型，提高日语水平，并顺利通过N1测试。

编 者

2010年4月于北方工业大学

## 目 录

## テスト 聴解スクリプト 解答

模擬テスト 第1回 .....	1	112	160
模擬テスト 第2回 .....	22	121	162
模擬テスト 第3回 .....	44	130	165
模擬テスト 第4回 .....	65	139	168
模擬テスト 第5回 .....	88	149	170

## 模擬テスト 第1回

### 言語知識（文字・語彙・文法）・読解

問題1 \_\_\_\_\_の言葉の読み方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

① 彼は今、新薬の研究開発に挑んでいる。

- 1 はげんで 2 のぞんで 3 からんで 4 いどんで

② 住民が建設会社を相手に、訴訟を起こした。

- 1 そしょう 2 せきしおう 3 そこう 4 せつこう

③ 企業は社内で若者を育てる余裕を失ってしまった。

- 1 きぎょう 2 しきょう 3 じぎょう 4 りぎょう

④ 彼は性格上、何か欠陥がある。

- 1 けってん 2 けかん 3 けっきん 4 けつかん

⑤ 夏の夜空に上がる花火を眺める。

- 1 あがめる 2 ながめる 3 のぞめる 4 もとめる

⑥ 社会貢献として植林に助成したり、社員の環境ボランティアを奨励したりする企業は多い。

- 1 げきれい 2 しょうれい 3 すいしょう 4 たいしょう

問題2 ( )に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

⑦ 私の主張は単なる( )ではなく、確たる証拠に基づいている。

- 1 模索 2 思索 3 推測 4 推移

⑧ 事故の原因是、機械の( )作動にあると考えられている。

- 1 偽 2 誤 3 被 4 亂

⑨ この大学は、去年( )された新しい大学です。

- 1 設立 2 自立 3 樹立 4 確立

⑩ 彼女の現在の苦しい立場を( )いただきたい。

- 1 称して 2 制して 3 察して 4 即して

# 新日本语能力测试高分冲刺卷 N1

11 中国への留学には（ ）手続きが必要で、完了までに一か月もかかった。

- 1 ややこしい 2 たやすい 3 なやましい 4 いやらしい

12 主人は会社のために（ ）を粉にして働いたが、結局、リストラされた。

- 1 身 2 体 3 足 4 腕

13 やっと新事業を立ち上げるための資金の（ ）が立った。

- 1 ふで 2 べん 3 やく 4 めど

問題3 \_\_\_\_\_の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

14 このマニュアルの説明はややこしい。

- 1 明確だ 2 奇妙だ 3 複雑だ 4 簡潔だ

15 人をあざむいて、利益を得てはいけない。

- 1 くるしませて 2 だまして 3 きずつけて 4 まよわせて

16 話の最後に「無我夢中でゲリラを突き刺した」と、うちあけた人もいた。

- 1 吐露した 2 隠した 3 開けた 4 黙った

17 今後とも、お客様を第一に、サービス向上につとめてまいりたいと存じます。

- 1 担当する 2 努力して 3 忍耐して 4 勤務して

18 中韓政府は小泉首相の靖国神社参拝を一斉に非難した。

- 1 せめた 2 うたがった 3 あらそった 4 たづねた

19 日本の自動車工場の多くの作業はオートメーション化している。

- 1 一般化 2 快適化 3 自由化 4 自動化

問題4 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

20 いたわる

- 弱い立場の人をいたわるのは大切なことです。
- 山田さんはこれまでの努力をいたわってくれました。
- 母は孫が遊びに来たら、いつもいたわっていました。
- 政治家は国民の生活をいたわるべきです。

21 キャリア

- その分野のキャリアになるには、長い間の努力が必要だ。
- 先月賞を取ったあの歌手のキャリアは苦勞続きだったそうだ。
- 昨日、異動の発表があって、兄のキャリアは部長になった。
- 彼のキャリアはそれほど長くないが、この仕事をよく理解している。

**22** まるまる

- 1 来ているお客様たちまるまるにプレゼントを用意してあります。
- 2 昨日の講演はとても好評まるまるだったそうだね。
- 3 せっかくのアイディアをまるまる人に使われてしまった。
- 4 そこでまるまる寝ているのが田中さんのネコです。

**23** よほど

- 1 私なんかには、よほどそんな大任は務まりません。
- 2 あの店の寿司はよほどおいしいので、行列ができるほどだ。
- 3 よほどのことがない限り、このプランが失敗する恐れはありません。
- 4 お風呂の温度はよほどよい温度でした。

**24** とうてい

- 1 彼はいくら批判されても、とうてい自分の意見を変えなかつた。
- 2 君にもとうてい私の気持ちがわかつてくれる日が来ことだらう。
- 3 いかに困難であろうと、私はとうていこの夢を実現したい。
- 4 今の私の力では、彼にはとうてい勝てません。

**25** いいかげん

- 1 誰も知らないと思って、いいかげんなことを言うんじゃないよ。
- 2 その地方はいいかげん危険なところと聞いています。
- 3 この作文は、中学生にしてはいいかげんよく書けている。
- 4 聞くところによると、いいかげんお金に困っているそうです。

**問題5** 次の文の（　　）に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

**26** 会社の発展は、社員の働き（　　）にかかっている。

- 1 いかん
- 2 といえども
- 3 にせよ
- 4 ばかりに

**27** 新しいビデオカメラを購入したいのだが、（　　）予算がない。

- 1 いかん
- 2 いかんせん
- 3 いかんにかかわらず
- 4 いかんによらず

**28** お風呂の水が（　　）になっていたわよ。気をつけてちょうだい。

- 1 出しがてら
- 2 出すほど
- 3 出しつぱなし
- 4 出すのみ

## 新日本语能力测试高分冲刺卷 N1

- 29 両親の苦労を見ていた私は、幼い（ ）、早く働きに出て親を助けたいと思った。  
1 ものを 2 ながらも 3 わけで 4 ことに
- 30 試験開始のベルが鳴る（ ）、学生たちは一斉に問題用紙を開いて書き始めた。  
1 やいなや 2 とたんに 3 ばかりに 4 が最後
- 31 人にはそれぞれ、その人（ ）事情があるのだから、無理強いはよくない。  
1 きっての 2 ための 3 あっての 4 なりの
- 32 企業というのは、（ ）多少の違法行為をするのもやむを得ないものなんだ。  
1 生き残らぬために 2 生き残らんがためには  
3 生き残るまいがために 4 生き残らないために
- 33 加藤先生。先ほど先生が私たちに（ ）写真を、もう一度、拝見できませんか。  
1 おめにかけた 2 お見せくださった  
3 ごらんくださいました 4 ごらんになつた
- 34 不景気になってからというもの、長い間、会社のために尽くしてきた管理職まで、  
非情に会社を（ ）。  
1 やめている 2 やめられている  
3 やめさせている 4 やめさせられている
- 35 大学の講義は、当時の私には退屈（ ）ものだった。  
1 極まらない 2 極めない 3 極める 4 極まる

問題6 次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(問題例)

あそこで \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ は山田さんです。

- 1 テレビ 2 見ている 3 を 4 人

(解答の仕方)

1. 正しい文はこうです。

あそこで \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ は山田さんです。  
1 テレビ 3 を 2 見ている 4 人

2. ★に入る番号を解答用紙にマークします。

(解答用紙)

(例)

① ● ③ ④

36 その若者は \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ おしゃれをきめこんでいた。

1 から 2 頭の先 3 に至るまで 4 足の先

37 うちの息子は \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 、絶対に目を覚まさない。

1 寝入った 2 が最後 3 雷が鳴ろうが 4 地震が起ころうが

38 通訳の試験に合格して、 \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ かどうか心配になってきた。

1 うまくやれる 2 果たして 3 のにもまして 4 うれしい

39 円筒形の給水タンクは \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ でまだあたたかかった。

1 吸いこんだ 2 昼のあいだに 3 热 4 たっぷりと

40 狹い空間に \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 白い月が目の前に浮かんでいた。

1 手すりにもたれかかると 2 欠けた

3 ほんの少しだけ 4 腰を下ろし

**問題7** 次の文章を読んで、[41]から[45]の中に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

ぼくは、プライドというのは絶対感だと思う。

自分がバカであろうと、非力であろうと、そういう自分全体に責任をもって、堂々と押し出す。それがプライドだ。ところが自尊心だとかプライドだといいながら、まるで反対のことを考えている人間が多い。

他人に対して自分がどうであるか、つまり、他人は自分のことをどう見ているかなんてことを気にしていたら、絶対的な自分というものは[41]。プライドがあれば、他人の前で自分をよく見せようという必要はないのに、他人の前に出ると、自分をよく見せようと思ってしまうのは、その人間にコンプレックスがあるからだ。

大切なのは、[42]-a に対してでなく、[42]-b に対してプライドをもつことなんだ。

他に対して、プライドを見せるということは、他人に基準を置いて自分を考えていることだ。そんなものは本物のプライドじゃない。[43]、他人にバカにされようが、笑われようが、自分が生きている手ごたえをもつことが、プライドなんだ。

相対的なプライドではなく、絶対感を持つこと、それが、ほんとうのプライドだ。こ

## 新日本语能力测试高分冲刺卷 N1

のことを**44**、人間として純粹に生きてはいけない。

だから、自分は未熟だといって悩んだり、非力をおそれて引っ込んでしまうなんて、よくない。それは人間というものの考え方を間違えている。というのは人間は誰もが未熟なんだ。自分が未熟すぎて心配だなどというのは甘えだし、それは未熟ということをマイナスに考えている証拠だ。

**45**、弱い人間とか未熟な人間のほうが、はるかにふくれあがる可能性をもっている。未熟というものは運命全体、世界全体を相手に、闘う力というものをもっている。

(岡本太郎『自分の中に毒を持て』による)

- |                            |                  |        |       |
|----------------------------|------------------|--------|-------|
| <b>41</b> 1 なくなってしまうのだろう   | 2 なくなってしまったのだろうか |        |       |
| 3 なくなってしまう                 | 4 なくなってしまった      |        |       |
| <b>42</b> 1 a. 自分自身 / b. 他 | 2 a. 他 / b. 自分自身 |        |       |
| 3 a. 他 / b. 人間             | 4 a. 人間 / b. 他   |        |       |
| <b>43</b> 1 なるほど           | 2 再び             | 3 それほど | 4 たとえ |
| <b>44</b> 1 貫けなかつたら        | 2 貫けなくても         |        |       |
| 3 貫くなら                     | 4 貫くと            |        |       |
| <b>45</b> 1 他人にいわせれば       | 2 ぼくにいわせれば       |        |       |
| 3 そうはいっても                  | 4 そうはいうものの       |        |       |

**問題8** 次の文章を読んで、後の問い合わせに対する答えとして最もよいものを、  
1・2・3・4から一つ選びなさい。

(一)

音楽や美術、彫刻などの芸術は、聴く人、観る人の批評によって育てられる。悪い演奏をしたら、良くない作品を出品したら、その芸術家は次に表舞台に出る機会を失う。ところが、医師や看護婦が行う医療の実践を評価できる患者は作られてこなかった。一般の人に知識を与えず、医療について評価できる患者がいない。だから医のアートが発展しないのである。これは患者にとってはもとより、医療者にとっても不幸なことではないか。

(日野原重明『いのちの言葉』による)

**46** 筆者がここで最も言いたいことは何か。

1 きちんとした医療の実践ができない医療者は表舞台から去るべきだ。

- 2 医療者を不幸にしないために、一般の人も医療の知識を持つべきだ。
- 3 医療も芸術と同様に、医療の良し悪しを評価できる患者が必要である。
- 4 悪い演奏や良くない芸術作品は、病院における医療事故と同じである。

## (二)

世間はゴールデンウィークで輝いているのに、閉じこもっている人たちがいる。日本のレジャー施設や旅館ときたら、金離れのいい人、体が自由自在に動く人を念頭に設計されている。そのせいだ。

3日、開園2周年を祝う「長崎でてこいランド」は、一味違う。「ディズニー（出づに）ランド」の向こうを張った名前は「だれでも楽しめるから出ておいで」という呼びかけもある。

**47** 「長崎でてこいランド」の趣旨に合ったものは次のどれか。

- 1 ハンディキャップを持つ人も持たない人も楽しく過ごせる設備を備えていること。
- 2 体の自由な人が楽しく過ごせる設備を備えていること。
- 3 金離れのいい人を楽しませるために、高級な施設を設けていること。
- 4 ハンディキャップを持つ人しか利用できないこと。

## (三)

仕事というものは、たいてい本質的にはおもしろくないけれども、そのような仕事にも大きな長所がある。仕事があれば、何をするかを決める必要もなしに、一日のかなりの部分をつぶすことができる。たいていの人は「好きなように時間を使ってもいい」となると、時間の使い方に困ってしまう。また、何かをやると決めたにしても、ほかのことのほうがもっと面白いのではなかろうかという感じに悩まされるものである。

**48** 仕事というものにはどんな長所があるか。

- 1 仕事があれば、好きなように時間を使うことができること。
- 2 仕事があれば、何をするかを決める必要もなしに、一日のかなりの部分をつぶすことができること。
- 3 仕事があれば、時間の使い方に困ってしまうこと。
- 4 仕事をすればするほど面白くなること。

**49** 上の文の内容に合っていないものは次のどれか。

- 1 仕事は本質的にはおもしろくないが、一日のかなりの部分をつぶすことができ

るという長所がある。

- 2 たいていの人は「好きなように時間を使ってもいい」となると、時間の使い方に困ってしまう。
- 3 仕事は、時間つぶすためにするのではなく、自分自身で好きに時間を使うためにするものである。
- 4 人間は自分のやっていることよりほかのことのほうが面白そうに見えるものである。

## 問題9 次の文章を読んで、後の問い合わせに対する答えとして、最もよいものを 1・2・3・4から一つ選びなさい。

(一)

人間は案外、①機械と似ている。機械屋の娘だからなのかどうかはわからないが、私は常々そう思っている。

よく「人間は機械じゃない！」といって、人間を機械のように酷使する社会のシステムを非難する人がいるが、私はその言い分に違和感を覚える。

機械はガソリンや電気が切れれば動かなくなるし、落としたり倒したりすれば壊れる。古くなれば動きが遅くなるし、できないことをやらせようとしてもできない。酷使すれば壊れる。とても正直だ。

ところが人間は、給料、つまり人間にとてのガソリンを減らして前より「一層よく働け」と命令し、過酷な労働を「精神性で克服せよ」と無理難題を押しつけ、「疲れた」と申し出る人には「癒せ」と鞭を打ち、休んでいる人や生産性の低い人を「怠け者」と非難し、そしてとうとう壊れてしまった人を「弱い」と非難する。②人間が人間を人間と見なせば見なすほど、非人間性は増やしていく。

人間に無限の可能性や能力や忍耐力なんてない。できることはできるし、できないことはできない。人間はもっと、③機械を見習ったらどうだろう。

(星野博美『迷子の自由』による)

50 ①機械と似ていると筆者が考える理由は何か。

- 1 給料が減れば過酷な労働は無理だが、生産性は機械と変わらないから。
- 2 人間は無理難題でも強い精神性で克服し、機械のように強くなれるから。
- 3 機械と同じように、人間は少しぐらい働きすぎてもすぐには壊れないから。
- 4 人間も酷使すれば壊れてしまうため、その点では機械と変わりがないから。

**51** ②人間が人間を人間と見なせば見なすほど、非人間性は増やしていくとはどういうことか。

- 1 人間はがんばればできるのだと考えて、無理をさせてしまうということ。
- 2 人間を機械のように酷使しても人間性を失われることはないということ。
- 3 人間は働き続ければ、生産性や人間性を高めることができるということ。
- 4 人間は一生懸命働けば機械と同じように生産性を高められるということ。

**52** ③機械を見習つたらどうだろうとあるが、筆者の考えに近いものはどれか。

- 1 機械のように休まずに動いていれば、どんな無理難題でも克服できるだろう。
- 2 機械と同じように、人間性や精神性などはあまり気にしないほうがいいだろう。
- 3 機械のように酷使されても壊れず、生産性を高められるようにならう。
- 4 機械のように、人間も無理なことはできないのだと認識したほうがいいだろう。

## (二)

人間は成長するにしたがい、何度も皮をむいて新しくなる。

この脱皮をさせてくれる助けはいろいろあるが、本はその大きなきっかけの一つである。あなたがある本と巡り会って、その中にある一つの言葉が、何か心にかかりながら、そのときは過ぎてしまう。何年かたってふと思い出し、「そうか、そういうことだったのか、ほんとだ、あの著者のいいたかったのは、こういうことなんだな。」とわかる、そのとき、あなたは一つの脱皮を成し遂げる。**①**そういうことが何度もいろんな本で行われると、その蓄積は次第に厚く深くなってゆくだろう。人生経験を積み重ね、それを裏打ちして自分にプラスしてゆくには、どうしても読書が必要になる。

とにかく、言葉をたくさん知ることが望ましい。わたしたちは、言葉を使って考えを組み立てる。**②**積み木の数は、なるべくたくさんでなければならない。さまざまな形のものも欲しい。本を読むことで、それらは幾つもできる気がする。口下手で、言葉をすぐ唇に上せられない（若いときはそういうことが多い）人も、頭の中に言葉がひしめいている。それでよいのだ。

（田辺聖子『読むことからの出発』講談社現代新書より）

53 ① そういうこととは何か。

- 1 ある本の中の心にかかった言葉が何年か後に理解でき、成長したこと。
- 2 ある本に巡り会ってその中の言葉が心にかかって、あるときふと思い出したこと。
- 3 人生でいろいろな経験をしながら、何度も脱皮したこと。
- 4 若いときに口下手だった人が年をとって話せるようになったこと。

54 ② 積み木はこの文章では何を指すか。

- 1 考え      2 経験      3 おもちゃ      4 言葉

55 この文章で筆者が言いたいことは何か。

- 1 ある本に巡り会ってその中の言葉が心にかかって、何年か立ってふと思い出したこと。
- 2 人間が成長するには、読書は大きな役割を果たすこと。
- 3 人生経験を積み重ねることによって、何度も皮をむくことができること。
- 4 積み木の数が多いほど、言葉が多く覚えられること。

### (三)

われわれは、よく、「体が覚えている」とか「手が覚えている」という言い方をすることがある。

意識的にものを考えるときには、「頭を使う」という言い方をするように、頭、脳を使って考えるが、人の心の働きには、脳の活動だけで説明しきることのできないものが多くある。例えば、記憶喪失になって、自分の名前や過去を忘れた人でも、車の運転は覚えていることがある。

文字は手で覚えるというのも、よく言われることだ。子供の頃、文字を覚えるのに、同じ字を何回も書かされたという覚えは、誰しもあることだろう。

そうして覚えた字は、忘れていても、書いてみると思い出せることがある。思い出してから書くのではなく、書くことによって思い出すということが起こるので。

例えば、人が書いた漢字を見て、間違っているような気がするのに、何処がどういうふうに間違っていると、はっきり指摘できないことがあったとする。そんなとき、① たいていの人は、その文字を紙に書いてみようとするのではなかろうか。

手がちゃんと覚えていたり、頭で考えなくても正しい字が書け、人の書いた字と比べて、「あっ、ここが違う」と指摘できたりする。（②）、妙に意識してしまうと、いつもは自然に書ける字が、かえって書けなくなり、思い出せなくなる時がある。

（匠英一「無意識という不思議な世界」 河出書房新社より）

**56** ①たいていの人は、その文字を紙に書いてみようとするのはなぜか。

- 1 覚えた字は、忘れていても、書いてみると思い出せることがあるから。
- 2 文字を覚えるのに、何回も書かなければならないから。
- 3 自分で書いた字に自信があるから。
- 4 人が書いた字と比べて、自分の字の正しさを指摘したいから。

**57** ( ② ) に入る適当な言葉を選びなさい。

- 1 その結果
- 2 その上
- 3 さらに
- 4 逆に

**58** この文章で筆者が言いたいことは何か。

- 1 意識して字を書いたら、いつも自然に書ける字が、かえって書けなくなり、思い出せなくなる時があること。
- 2 自分の言動は、自分の頭で考えたとおり反応しているとは限らない。自分でも気づかない体の働きによって日常の多くの言動が左右されていること。
- 3 意識的にものを考えるときには、脳の活動だけで説明しきることのできないものがたくさんあること。
- 4 文字は手で覚える。覚えた字は、忘れていても、書いてみると思い出せることがあること。

**問題10** 次の文章を読んで、後の問い合わせに対する答えとして、最もよいものを  
1・2・3・4から一つ選びなさい。

カラスは頭がいいというのは、みんな知っている。もはや常識といつてもいいかもしれない。ゴミにカラスが来ないように何かしかけても、すぐに見破られてしまい、「カラスって頭がいいんだなあ」と実感することも多いだろう。**①人の思惑**がカラスに見抜かれているようで、感心してしまうのである。

では、「頭がいい」というのは、どういう能力をいうのであろうか。

人間界では、抜群の記憶力を持つ人を「頭がいいね」なんていう。この点でいえば、鳥は「三歩歩ぐと忘れる」というくらい記憶力が悪い動物とされる。ところがカラスには、それは当てはまらない。

宇都宮大学の杉田研究室では、いろいろな実験をしてカラスの能力を調べている。たとえば、15人の顔写真を貼った容器の一つだけに、大好物のドックフード(注1)を入れて覚えさせると、100%近い正解率を出す。しかも三週間ほどブランクを開けても成績はほとんど変わらないというから驚きである。三歩どころか三週間たっても忘れないのだ。

しかし、カラスの仲間のマツカケスは一万か所も貯食場所を覚えているのだから、こ